

名古屋大学<<未来社会創造機構・特任教員>>公募要領

1	募 集 件 名	特任助教、または研究員の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	名古屋大学未来社会創造機構脱炭素社会創造センター	
4	募 集 内 容	[職務内容] (雇入れ直後) ■ JST 共創の場形成支援プログラム「セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点」において、未利用資源・エネルギーの利活用に資する技術開発を行います。本研究では、CO ₂ を変換し、メタンを中心とした都市ガス成分、一酸化炭素、メタノールなどの有用化学物質を合成するために用いる触媒の研究開発に従事していただきます。さらに、上記拠点内での課題間連携や、実施する小型のメタネーション装置の実証実験にも参加していただきます。 (変更の範囲) ・東海国立大学機構が指定する業務	
		[勤務地] (雇入れ直後)愛知県名古屋市千種区 (変更の範囲)東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 特任助教または研究員 いずれか1名	
		[着任時期] 2026 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い時期	
		(大分類) D	(小分類) 触媒化学
5	募集研究分野	(大分類) D	(小分類) プロセス工学・化学工学
		(大分類) D	(小分類) ナノ構造化学
6	勤 務 形 態	常勤(任期付) 契約期間:期間の定めあり(採用日から 2027 年 3 月 31 日まで) 試用期間:あり(採用日から 6 か月) 契約の更新可能性:有(契約満了時の業務量、勤務成績、態度、能力、法人の経営状況、従事している業務の進捗状況・プロジェクトの継続の有無・予算状況等により判断) プロジェクト期間/通算契約期間:最長 2032 年 3 月 31 日まで	
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件(学位などを含む)・専門性等の詳細] ・関連する分野で博士号を取得(見込み)の方。 ・反応の種類は問わないが、特に触媒の創製(担体、金属ナノ粒子など)に関連する研究成果を持ち、触媒のキャラクタリゼーション、反応速度解析に精通している方。 ・触媒化学、無機材料化学、物理化学、電気化学などの専門知識を持ち情熱を持って研究に取り組んでいただける方。 ・拠点内での課題間(異分野)連携や、小型のメタネーション装置の実証実験について	

		でも積極的に参加していただける方。
8	待 遇	[採用後の待遇(給与、勤務時間、休日、保険等)] ・ 東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・ 給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用職員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110000191.html ・ 専門業務型裁量労働制により、1 日 7 時間 45 分働いたものとみなされます。 ・ 休日: 土・日曜日、国民の祝日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日) ・ 加入保険: 文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・ 受動喫煙防止措置: 原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応 募 期 間	2025 年 10 月 24 日 から 2025 年 11 月 30 日(必着) (ただし、適任者の採用が決まり次第、募集を締め切ります)
10	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募書類(提出方法)] ① 履歴書(書式自由、写真添付、連絡先とメールアドレスを明記) ② 研究業績リスト(学会誌などの論文、国際会議、著書・解説、特許、受賞などに分類) ③ 主要論文 3 編以内の PDF ④ これまでの研究の内容(A4 用紙 2 項以内) ⑤ 本プロジェクトに対する意気込み ⑥ 照会者 2 名の方の連絡先(氏名、所属、連絡先) ⑦ 類型該当性の自己申告書(下記 URL より様式をダウンロードください。) https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/zXHTc8eBAB8Hmcs JREC-IN Portal の「Web 応募」機能を使用し、上記の書類を圧縮するなどして 1 つのファイルにまとめて応募してください。なお、お送りいただいた書類は選考のみに使用しますが、返却はしませんのでご了承ください。 [JREC-IN のリンク] https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail/Changelang?id=D125101960&lang=0 [選考内容] 書類審査のうえ、随時、面接を行います。面接の際の旅費は自己負担とします。 [結果通知方法] 選考結果はメールで通知します。 [問い合わせ連絡先] 〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 大学院工学研究科 化学システム工学専攻 (兼)未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター 教授 永岡勝俊 nagaoka.katsutoshi.n2@f.mail.nagoya-u.ac.jp

11	そ の 他	① 名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会貢献、人物を含む)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ② 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ③ 応募書類は、本選考委員が責任を持って処分し、返却しません。 ④ 面接に要する交通費は支給しません。 ⑤ 2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ⑥ 本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ・ジェンダーダイバーシティセンター Web サイト:https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ・ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロッキング(Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言: https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ⑦ ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。
----	-------	---